

「この人 62」

下嶋四万歩 67歳 神奈川県

編集部 俳句を始められたのは？

下 嶋 七年位前から、俳句に興味をもっていたので始めました。

編集部 滑稽俳句を始められたのは？

下 嶋 「俳句の本質は滑稽にありと見つけたり」というところでしょうか。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

下 嶋 心の緊張を解きほぐす効用のあるところですね。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

下 嶋 パロディ、アイロニー、常識破り、誇張、デフォルメ、擬人化などがあって、ユーモアとペーススが入り交じるものと思います。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かったことは？

下 嶋 物を視つめる視点に、常に「ひねり」の精神が働くことです。「視力の深化」と云えるものではないでしょうか。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

下 嶋 「コツ」を会得しているわけではありませんが、常に新しい角度から物事をとらえ、そこから新しい真実を発見しようと努めることにあるのではないのでしょうか。

【代表句】

友だちの友だちはみなろのこづち
ああ言へば斯く言ふ燕返しかな
秋の聲変な噂もまじりけり
小さき鼻大きな鼻も風邪ひきぬ
腹の子のはみだしてゐる日傘かな